

日本学術会議／心理学・教育学委員会・臨床医学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会
・土木工学・建築学委員会合同　子どもの成育環境分科会（第24期）

第3回　議事録

日時：平成30年8月22日（水）15時～17時

会場：日本学術会議6階　6-A（1）（2）会議室

出席：神尾，水口，赤松，浅野，伊香賀，内田，加野，神吉，木下，斎尾，定行，田中，都築，中坪，福井，三輪（記録），湯川，吉野，仙田
小酒井（朝霞市よりオブザーバー）、野村，五十川（国土交通省よりオブザーバー）、葉袋（日本女子大より参考人）　（下線：出席者）

配布資料：

資料1　生活道路の交通安全対策（五十川室長資料）

資料2　欧州の遊べる道～快適で健康になれる生活空間づくりのために～（葉袋先生資料）

資料3　英国における住宅地内道路のボンエルフ（生活空間道路）的利用の変遷（葉袋先生資料）

資料4　住宅地内の道路を生活の場とするための研究　その8（葉袋先生資料）

資料5　地域環境と小学校施設環境が児童の健康に与える影響（伊香賀委員資料）

資料6　子どもの成育環境分科会年次報告（平成29年10月～平成30年9月）

参考1　【議事要旨（公開版）】子どもの成育環境分科会（第24期・第2回）

参考2　分科会委員名簿

机上配布1　第2回議事録（非公開版）

当日追加配布資料　国際校庭園庭連合2018年日本大会（横浜）　チラシ

議事内容

1．前回議事録案の確認（机上配布1）

・前回議事録内容を確認。

2．「道路・住環境」についての話題提供　1)2)3)

1)生活道路の交通安全対策　国土交通省　道路局　道路交通安全対策室　五十川室長より

2)欧州の遊べる道～快適で健康になれる生活空間づくりのために～　葉袋奈美子日本女子大学教授より

3)地域環境と小学校死せう環境が児童の健康に与える影響　伊加賀委員より

3．全体討議

話題提供1)2)3)に関して、各観点からの討議がおこなわれた。

・以前の報告で「遊べる道路を」という提言について国民から3件意見がでてきた経緯あり。

- ・道路は「危ないのか」「遊んでいいのか」をどう子どもに伝えるのが課題。
- ・もともとは道で遊んでいた。生活道路においては子ども優先にしていくべきではないか。
- ・日本は子どもの安全というと「有害物質を遮断する・排除する」ということを進めている。
全部排除していたら囲い込まれてしまう。発達段階に応じてリテラシーを育てる、リスク管理を教えることが大事で、大人への意識改革が大事。
- ・道路空間の活用について、住民の合意により柔軟に作れるスキームが出てきたところ。価値観の変化に対応し、生活空間の仕分けをしっかりとっていくことが必要。一方で、現場で住民が合意していくスキームの難しさの指摘もあり、施策の進め方などの改善も必要。
- ・都心の街区レベルの再開発では、子どもに関わらず大人も歩きにくくなっている再開発が起こっている場合もあり、注視したい。

4. 国際校庭園庭連合 2018 年日本大会（横浜）の案内

5. 次回の分科会について

- ・10 月 教育・保育環境をテーマに、12 月 医学・心理領域をテーマに開催予定。
- ・関連して、文科省、厚労省などからの発表者の調整も検討する。

以上